

令和5年12月12日	
資料提供	
担当課(室)	県立近代美術館
担当班・係	総務課
担当者	玉井 俊充
電話	073-436-8690

和歌山県立近代美術館が地域創造大賞 (総務大臣賞)を受賞しました!

～本県の施設としては初の受賞～

1 施設概要

1963(昭和38)年に和歌山城内に開館した和歌山県立美術館を前身とする和歌山県立近代美術館は、1970(昭和45)年、和歌山県民文化会館1階に開館し、23年間の活動を続けたあと、1994(平成6)年7月、現在の場所に新築移転した。同館は建築家・黒川紀章の設計によるもので、建物の正面には巨大な灯籠が建ち並び、特徴的な庇(ひさし)が数多く設けられるなど、同氏の「共生の思想」が反映されている。魅力的な展覧会を開催するとともに、地元ゆかりの作家を中心とする作品の収集を積極的に行い、より多くの美術作品を鑑賞する機会や体験の充実を目標に、教育普及活動、地域住民との協働などによる地域活動、文化芸術活動を担う人材の育成に意欲的に取り組み、公立文化施設としての理念、使命のもと、施設運営を行っている。



和歌山県立近代美術館 外観



こども美術館部(小学生向けの鑑賞会)

2 受賞理由

保田龍門、川口軌外、川端龍子ら郷土作家の作品を積極的に収集し、約15,000点の作品を所蔵。美術館の基本であるコレクション活用の充実を図り、展覧会、教職員と連携した「なつやすみの美術館」、小学生向けの鑑賞会などを展開し、地域文化の普及と誇りの醸成に貢献したことが評価されました。

3 表彰式日時・場所

日時：令和6年1月19日(金) 14:00～14:50

会場：グランドアーク半蔵門(東京都千代田区隼町1-1)

参加予定者：総務大臣、総務省幹部、受賞施設設置団体の代表者、受賞施設代表者、審査委員会委員他

4 地域創造大賞について【主催：（一財）地域創造】

地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く周知することにより、公立文化施設の活動のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、平成16年度に創設されたものです。

5 その他

他の受賞者等詳細は、別添「一般財団法人 地域創造」のプレスリリースをご参照ください。



令和5年12月8日
一般財団法人 地域創造

令和5年度地域創造大賞（総務大臣賞）受賞施設の決定について

（一財）地域創造では、令和5年度地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞施設を以下の5施設に決定しました。

1 受賞施設

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| ○深川市文化交流ホールみ・らい | 【北海道深川市】 |
| ○神奈川県立県民ホール神奈川芸術劇場
（KAAT神奈川芸術劇場） | 【神奈川県】 |
| ○京都会館（ロームシアター京都） | 【京都府京都市】 |
| ○豊中市立文化芸術センター | 【大阪府豊中市】 |
| ○和歌山県立近代美術館 | 【和歌山県】 |

2 表彰式

日時 令和6年1月19日（金）14:00～14:50
会場 グランドアーク半蔵門 華の間（東京都千代田区隼町1-1）

3 地域創造大賞（総務大臣賞）について

- この賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、平成16年度に創設されたもので、今年度が20回目の表彰です。
- 受賞施設は、全国の地方公共団体から応募があった施設について、以下の基準を設け、専門家で構成する地域創造大賞審査委員会（委員長：田村孝子氏／文化ジャーナリスト）において審査を行い、その結果を受けて決定しました。

4 審査基準

- (1)地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか
- (2)先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- (3)地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか

など

地域創造大賞（総務大臣賞）審査委員

役職	氏名	所属等
委員長	田村 孝子	文化ジャーナリスト、 前 公益社団法人 全国公立文化施設協会 副会長
委員長代理	吉本 光宏	合同会社文化commons研究所 代表
委員	河内 隆	一般財団法人 地域創造 理事長
委員	熊倉 純子	東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科長 教授
委員	小林 真理	東京大学大学院人文社会系研究科 教授
委員	坪池 栄子	株式会社 文化科学研究所 編集プロデューサー
委員	仲道 郁代	ピアニスト
委員	柳沢 秀行	公益財団法人 大原美術館 学芸統括

※委員長、委員長代理以下、五十音順

問合せ先
一般財団法人 地域創造
総務部 北代、三田
TEL：03-5573-4184

—受賞施設紹介—

深川市文化交流ホールみ・らい【北海道深川市】



◎ “アーティストとの交流” により市民に活力

施設計画に携わった市民文化団体有志の設立したNPO法人深川市舞台芸術交流協会が2006年から運営。クラシック音楽のアーティストとの絆を育み、アウトリーチ（2016年度からは市内全小中学校）、エントランスコンサート、創造的な市民参加事業を意欲的に展開。人口1万9千人のまちの文化広場としてアーティストとの交流による心豊かな暮らしに貢献した。

運営：NPO法人深川市舞台芸術交流協会

開館：2004年

神奈川県立県民ホール神奈川芸術劇場（KAAT 神奈川芸術劇場）【神奈川県】



◎ “創造発信型劇場” の旗手

芸術監督、技術監督など専門家を配して運営。貸館による首都圏の人気公演と並び、新進アーティストを起用した演劇・ダンスの斬新な新作を数多くプロデュース。ファミリー層に新しい舞台体験を提供するKAATキッズ・プログラム、オリジナル・プロダクションによる県内ツアーなど高度な舞台芸術の広域拠点施設として尽力した。

運営：公益財団法人神奈川芸術文化財団

開館：2011年

京都会館（ロームシアター京都）【京都府京都市】



撮影：小川重雄

◎文化芸術都市における“劇場文化”を振興

前川國男設計の京都会館を改築し、ロームシアター京都として再出発。「劇場文化をつくる」をミッションに、新作プロデュース、伝統芸能の継承、京都国際舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT」、京都芸術センターなどとの連携、「劇場の学校」による人材育成、子どものプログラム、ローム・スクエアを活用した賑わい創出事業などを展開。国際的な文化芸術都市・京都の振興に貢献した。

運営：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

開館：1960年（2016年改築）

豊中市立文化芸術センター【大阪府豊中市】



◎ “新たなハブ” として地域の魅力を発信

大阪のベッドタウンとして発展した中核都市・豊中の文化芸術拠点。日本センチュリー交響楽団がパートナーオーケストラとして連携。幅広いジャンルの鑑賞事業に加え、地元演奏家と市民コーディネータを育成する「とよなかARTSワゴン」、大学と連携したプロジェクトなどを展開。文化芸術と市民をつなぐ新たなハブとして地域の魅力を発信した。

運営：JCD・日本管財・大阪共立グループ

開館：2017年



◎ “コレクション活用” による美術館運営の旗手

1963年に開設された和歌山県立美術館が前身。保田龍門、川口軌外、川端龍子ら郷土作家の作品を積極的に収集し、近現代版画を含め約15,000点を所蔵。美術館の基本であるコレクション活用の充実を図り、テーマ別展覧会、教職員と連携した「なつやすみの美術館」、小学生向け隔月鑑賞会などを展開。地域文化の普及と誇りの醸成に貢献した。

運営：和歌山県

開館：1994年